

街路空間構成要素の色彩構成に着目した
都市景観整序手法
研究成果報告

窪田陽一(埼玉大学)
深堀清隆(埼玉大学)

研究の背景と目的

- 街路景観の整序手法
建物形態、敷地空間構成、道路構造物のデザイン、
色彩規制
- 街路景観における色彩に関する既存の規制手法の課題
景観形成地域の景観形成基準やガイドラインなど
- ①建物等に対する単体規制が主であり、街路のトータルな景観形成に対する配慮の欠如
- ②屋外広告物は街路の情報伝達機能を担うので、過剰な景観規制は望ましくないとの認識がある
- ③色相に応じて彩度や明度に規制をかける際、均質な規制による色彩デザインの自由度が失われる

研究の背景と目的

- ①建物等に対する単体規制が主であり、街路のトータルな景観形成に対する配慮の欠如
- ②屋外広告物は街路の情報伝達機能を担うので、過剰な景観規制は望ましくないとの認識がある

＜本研究での対応＞

- ・広告物と建物の**一体的景観形成**の観点から、広告物の色彩に着目した規制のあり方を考える
- ・色彩コーディネート観点より、情報伝達力を保持しつつ、街並み(建物)に適合した屋外広告物の色彩規制を考える

研究の背景と目的

- ③色相に応じて彩度や明度に規制をかける際、均質な規制による色彩デザインの自由度が失われる

＜本研究での対応＞

- ・彩度や明度に対する単純・一律な規制ではなく、
建物壁面・屋外広告物(複数色の使い分け)の色彩の組み合わせに応じて、規制強度を調整する。

特に屋外広告物については、情報伝達のための誘目性を一定レベル必要とすることを理解した上で、
→色彩コーディネートとして街並みの景観に問題がなければ、より幅広い色彩選択肢を提供

- ・経験則から一律に規制するのではなく、**人間の色彩に対する評価を踏まえて許容できる色彩を見出だす。**

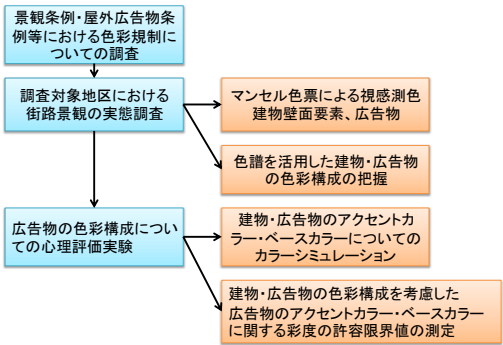
研究目的

建物と屋外広告物の色彩の組み合わせに着目し、
配色について、新しい規制のあり方を提示する。



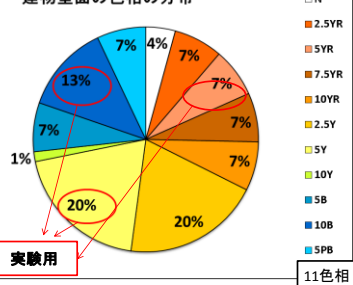
検討する配色の構成要素

研究実施フロー

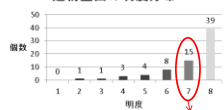


建物壁面使用色の色彩特性

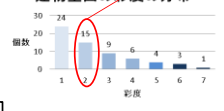
建物壁面の色相の分布



建物壁面の明度分布



建物壁面の彩度の分布

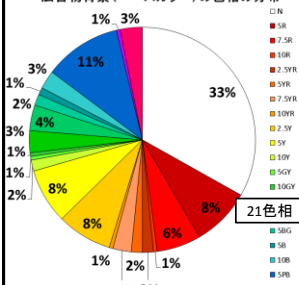


・色相は、YR(黄赤)とY(黄)の暖色系が2/3程度を占め、残りが寒色系(B、PB)

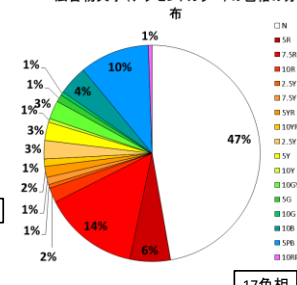
・明度と彩度は明るいもの、鮮やかでないものが多いが、実験において色味を感じさせるため、明度7、彩度2を採用する

広告物使用色の色彩特性

広告物背景(ベースカラー)の色相の分布



広告物文字(アクセントカラー)の色相の分布



・ベースカラーでは緑系統の色彩使用が比較的多い
・アクセントカラーでは、無彩色の使用が比較的多い

色譜による街路の配色パターンの把握



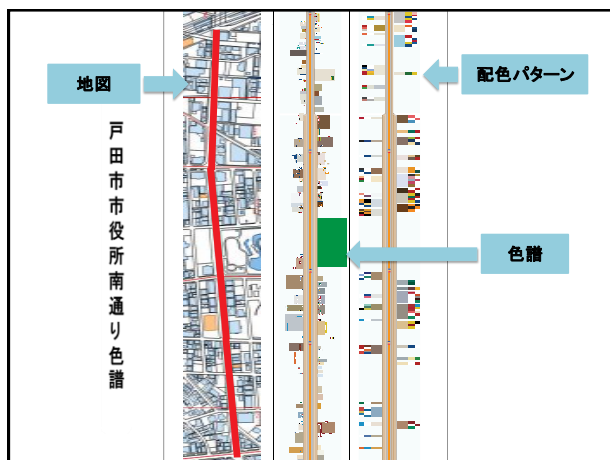
色譜による色彩構成の再現

※多数の写真で色彩管理をするではなく街路単位での色彩構成を一括して把握するツール

・建物、広告物アクセントカラー、広告物ベースカラーそれぞれについて代表色を設定し、3色の配色パターンに単純化

・広告物の建物への配置位置の表現
→街路景観秩序の状況把握

・広告物掲出形態(突出、壁面、屋上)を区別して再現

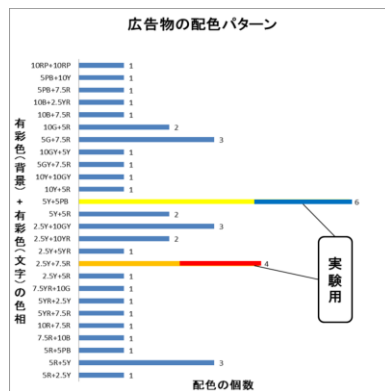


色譜による広告物の色彩構成の比較

戸田市市役所南通り(右)
京都市御池通り(左)

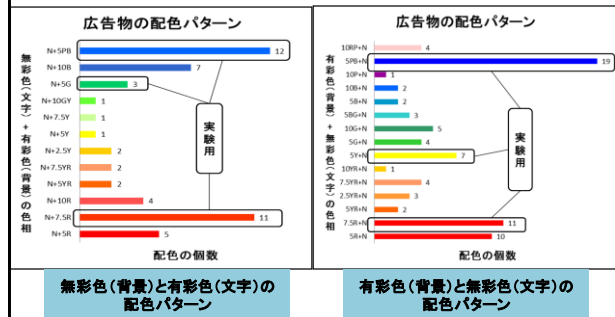
・屋上広告物、突出広告物の使用状況
・広告物の壁面配置上での連続性・統一感
・広告物に対する景観配慮(額縁表現・反転表現)の適用状況

色譜による配色パターン(実験用)の抽出

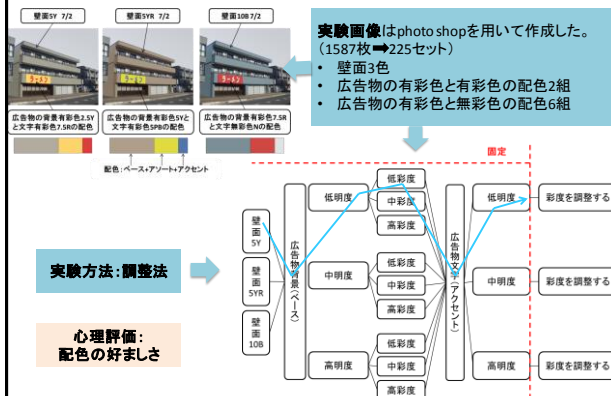


有彩色と有彩色の配色パターン

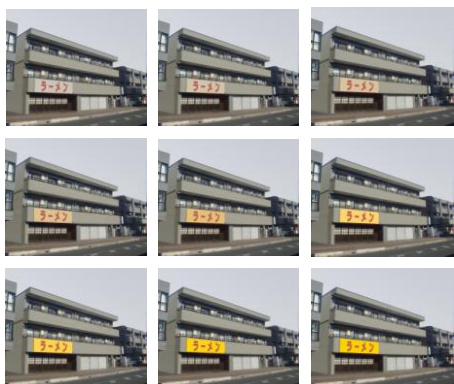
色譜による配色パターン(実験用)の抽出



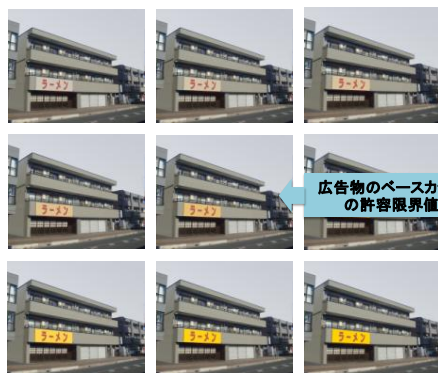
心理実験による広告物彩度の許容限界値計測



調整法で用いたカラーシミュレーション画像 広告物のベースカラーの彩度の調整



調整法で用いたカラーシミュレーション画像 広告物のベースカラーの彩度の調整



調整法で用いたカラーシミュレーション画像 広告物のアクセントカラーの彩度の調整



調整法で用いたカラーシミュレーション画像 広告物のアクセントカラーの彩度の調整



